

サライ SERAI イ



心と体と自然にやさしい

大人の逸品

〔特集〕

一から始める
入門道具

【2008年 春号】

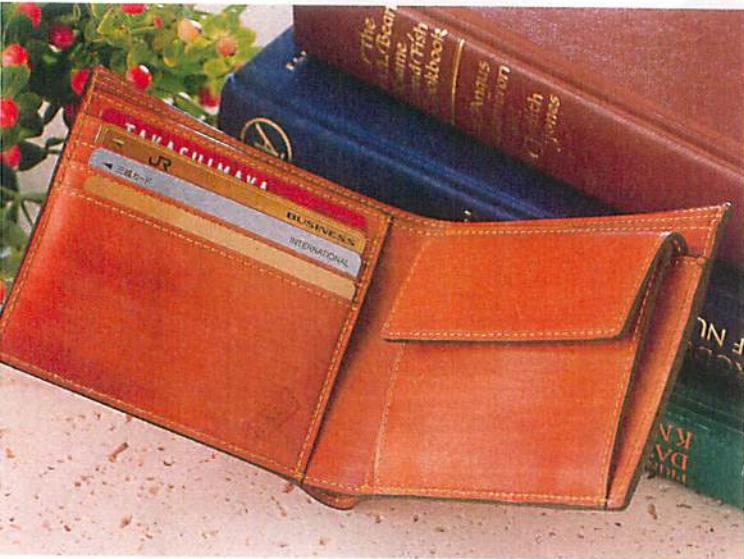
柿渋染め財布

持つほどに風合いが変化する、使いやすい財布

柿渋は、柿の果実を粉碎、圧搾して得られた液を発酵させて作る。それには、防腐・防水・防虫効果があるとされ、日本では古来、漆の下塗りや衣類の染めなどに使われてきた。

そんな伝統的な柿渋染めを牛革に施して作ったのがこの財布。一枚一枚ハケで染色して天日干しを

繰り返すことで、自然の風合いが滲み出てくる。柿渋染めの革は、時間の経過とともに微妙な変化を見せ、さらに陰影に富んでくる。二つ折りの財布を開くと、木目調の柿渋染めに黄色のステッチが現れ、また違った表情を見せる。札入れに隠しポケットがつくなれば遊び心にもあふれた財布である。



↑二つ折りを開くと、黄色いステッチがアクセントとなって目に飛び込む。カード入れ、小銭ポケットなど日常使いに充分な機能を装備する。



←防水・防腐効果などがある柿渋で染色した、その名のとおり渋い味わい。手触りもよい。

[三和袋物] 柿渋染め財布

税込み価格 1万8900円

商品番号 055

限定数 100

縦9.5×横11.2×厚さ2.8cm(二つ折り時)。75g。小銭入れ、札入れ×2、カード入れ×4、ポケット×5。日本製。

[ケイン]
有田焼飾り
税込み価格
商品番号
色柄番号

限定数
全長90cm(真
約330g。手
柱は国産本椎
日本製。

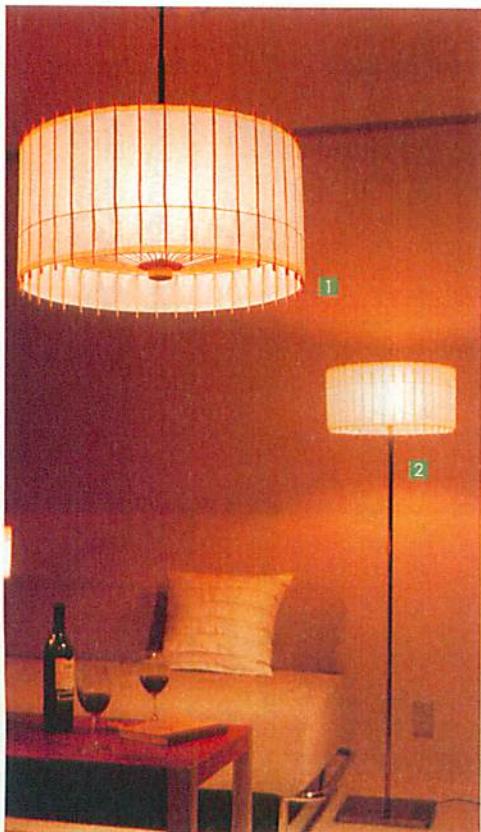
はずした眼鏡のしまい場所である。
眼鏡用のチャーチは便利だが、好
き嫌いもある。

和傘ランプシェード

伝統の和傘作りの技能を生かした和風照明

江戸時代後期より百数十年にわたりて、京都で和傘を作り続けてきた老舗が日吉屋である。当主は現在で5代目を数える。とくに茶道家元御用達の5尺にもなる本式野点傘は和傘の最高級品。国内では唯一日吉屋でのみ製作している伝統の逸品として知られる。

そんな日吉屋が、和傘作りの技能を生かして美しい造形の照明器具を作った。京和傘を陽にかざしたときのような透過光と、竹骨の幾何学模様の美しさがリビング空間に映える。和紙を通してやわらかな光は、疲れた気持ちをホッとさせてくれる。



←竹骨の直線が美しい造形を見せる。1本ずつ丁寧に裂いて作られた素材の竹は、経年により変化を見せるが、そんな移ろいを楽しむのも一興。



←①ペンダントライトは桐箱に入っている。ランプシェードは和傘と同じように開閉ができる。

[日吉屋] 和傘ランプシェード

限定数 各50

①ペンダントライト

税込み価格 3万7800円
商品番号 056

②フロアスタンド

税込み価格 9万3450円
商品番号 057

①とも直径388×高さ205mm。②の全高は1370mm。E17、40W ポール球、E17、60W ポール球。日本製。

[ジェイ・エフ
シルバー]
眼鏡掛け
税込み価格
商品番号
限定数
縦1.9×横1.1
5.5g。本体
針とキャッチ
ル合金。日本